

みんなで守ってます

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

新人研修で汗を流す

(株)武蔵野銀行

4月15日(水)と20日(月)の2日間に分けて、新入行員171名が、「社会貢献の意識と行員同士の連帯感の醸成」を目的に三ツ又沼ビオトープで保全管理作業を行いました。



ミドリシジミのためにハンノキを植える

川島ネイチャークラブ

5月24日(日)、川島ネイチャークラブがハンノキの植栽と竹林の保全管理を行いました。植栽したハンノキは13本。川島ネイチャークラブの皆さんが2年間大切に育てたものです。



荒川の野草を増やすために 発芽実験

埼玉県立いずみ高等学校

5月20日(水)、今年度も、埼玉県立いずみ高校と連携し、荒川の草花の発芽実験をスタートさせました。生物サイエンス科2年生が中心となり、今年度は秋の七草のひとつ、フジバカマなどの発芽条件などを調べます。



ビオトープを学ぶ 野外実習

大正大学

5月11日(月)、人間環境学部環境コミュニティコースの学生34名がビオトープの保全管理に関する野外実習に訪れました。環境サポーターから荒川の自然の素晴らしさと問題について話を聞き、保全管理作業をし、最後はみんなで振り返りを行いました。



荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

ハンノキと荒川の草花を育てています

川島町立出丸小学校と上尾市立太平中学校 科学部の皆さんが、三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするために、ハンノキと荒川の草花を育てています。

川島町立 出丸小学校



上尾市立 太平中学校



出丸小学校・太平中学校で育てている荒川の草花。左から、ハンノキ、キンミズヒキ、イヌタデ、チカラシバ

行ってみよう！ やってみよう！ ミドリシジミを観察しよう

7月の月上旬まで、夕方に三ツ又沼ビオトープに行くと、ハンノキの周りを飛び回るミドリシジミをたくさん観察することができます。三ツ又沼ビオトープでは、ミドリシジミを増やすために、地域の学校や団体が幼虫の食べ物となるハンノキを植え戻しています。

学校や企業、団体で自然観察会や自然を守るための活動がしたい！という方は、サポーター事務局までご連絡ください。活動のお手伝いをいたします。



【三ツ又沼ビオトープ】
上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録）。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きの方、荒川が好きの方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！